

第6章 農村環境整備の展開

6.1 広域的整備計画

広域的整備計画は、長岡市総合計画の「土地利用構想図」や長岡市環境基本計画の「地域区分」を参考にしながら、市全域を対象として地域特性・環境評価に基づいてエリア区分を行い、各エリアで効果的と考えられる対応方策・施策を選定し推進するものである。

(1) エリア区分

以下の6つのエリアを設定した。これらは厳密な線引きではなく、また土地利用などを規制・制限するものではない。指針として環境保全・整備を導いていくための地域分けである。なお寺泊地域(旧寺泊町)は、平成17年度に農村環境計画が策定されているため、「海と自然の保全エリア」として、既存の計画を尊重することとした。

多様な自然保全エリア

自然と共に歩む田園創造エリア

交流・ふれあい推進エリア

美しい里山回復エリア

自然と歴史の保全活用エリア

海と自然の保全エリア

エリア名	主な該当地域	主な地域特性・環境評価等
多様な自然保全 エリア	長岡地域東部の一部、山古志地域、栃尾地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ブナの自然植生や稀少な動植物が分布 ・県立自然公園、自然環境保全地域を有する ・傾斜地が多く山間地に棚田が広がる ・水質浄化への取組の要望多 ・文化、伝統継承による地域個性保持を重視 ・美しい農村風景形成を重視 ・農業後継者対策の推進の要望多 ・自然に配慮した農地等の整備の要望多
自然と共に歩む 田園創造エリア	市街地を除く長岡地域平地部、中之島地域、越路地域北東部、三島地域東部、与板地域東部	<ul style="list-style-type: none"> ・広大な田園と信濃川が原風景をおりなす ・信濃川沿いに河川特有の植物、動物が分布 ・生物の生息環境創出の要望多 ・文化、伝統継承による地域個性保持を重視 ・農業後継者対策の推進の要望多 ・若年層の生き物とのふれあい要望意識低
交流・ふれあい推 進エリア	長岡地域市街地	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅、企業、工場、商業施設等が集積 ・水質浄化への取組の要望多 ・地域コミュニティ機能の低下 ・自然、田園景観の減少

美しい里山回復 エリア	長岡地域西部の一部、越路地域南西部、小国地域	<ul style="list-style-type: none"> ・かつての薪炭林が多く原植生の影が薄い ・自然と親しむ森林公園等を有する ・渋海川流域に段丘が広がり棚田が分布 ・水質浄化への取組の要望多 ・文化、伝統継承による地域個性保持を重視 ・農業後継者対策の推進の要望多 ・環境保全型農業の導入、推進の要望多
自然と歴史の保全活用 エリア	和島地域、三島地域西部、与板地域西部	<ul style="list-style-type: none"> ・二次林が多い一方、海岸部でマツ枯れが目立つ ・史跡、歴史的建造物や良寛ゆかりの名所等歴史的資源が豊富 ・生物の生息環境、自然とのふれあいの場の創出の要望多 ・文化、伝統継承による地域個性保持を重視 ・若年層の生き物とのふれあい要望意識低 ・農業後継者対策の推進の要望多
海と自然の保全 エリア	寺泊地域（平成17年度に寺泊町農村環境計画策定済み）	<ul style="list-style-type: none"> ・南北約16kmの美しい海岸線を有する ・佐渡弥彦米山国定公園地域を有する ・歴史的資源が豊富 ・農業後継者対策の推進の要望多

（2）環境保全・整備の方向

地域特性、環境評価に鑑み、各エリアにおいて特に目指すべき環境保全・整備目標を以下のように選定した。

エリア名	主要な環境保全・整備目標															
	多様な自然保全	里山の生物	全農・農村形成	農村景観の保	水と緑づくり	ネットワーク	推進のふれあいや自然	環境教育の自然	促進の醸成、交流の意識	地域の活動の意	活用文化・伝統の利	環境保全型農業	強化、経営基盤の向	農業生産性の向	食育・地産地消	農の取組の展体開
多様な自然保全エリア																
自然と共に歩む田園創造エリア																
交流・ふれあい推進エリア																
美しい里山回復エリア																
自然と歴史の保全活用エリア																
海と自然の保全エリア																

海と自然の保全エリア...「寺泊町農村環境計画」を参照し、該当する環境保全・整備目標を選定した。エリア区分図を図6-1に示す。



エリアとは...地域特性や環境評価等に基づいて、一定の地域をくくり、共通の環境保全・整備をめざす範囲を設定したもの。土地利用等を規制・制限するものではない。

図 6-1 エリア区分図

6.2 地域別整備計画

エリア分けした区域内において、将来事業展開が予定されている、或いは環境保全・整備の取組が始まっている等の背景がある地域については、更にゾーン設定を行い、方策・施策を重点的に進めていく地区として位置付ける。

(1) ゾーン区分

以下の2つのゾーンを設定する。

農による地域づくりゾーン 高生産性営農ゾーン

ゾーン名	ゾーンの方向性
農による地域づくりゾーン (多様な自然保全エリア、美しい里山回復エリア及び自然と歴史の保全活用エリア内)	自然や農業に親しめる環境整備を図り、都市住民等との交流を通じて活力のある地域づくりを推進する。
高生産性営農ゾーン (自然と共に歩む田園創造エリア、美しい里山回復エリア及び自然と歴史の保全活用エリア、海と自然の保全エリア内)	自然との共生に可能な限り配慮しながら、高効率・高生産性農業の生産基盤の整備を推進する。

(2) 環境保全・整備イメージ

各ゾーンにおいて重点的に展開されるべき方策を以下のように選定する。

ゾーン名	主要な環境保全・整備目標 (=各ゾーンの重点的な目標、 =各ゾーンが属するエリアの目標)											
	多様な里山の生物	農村景観の保全	水と緑のネットワーク	推進のふれあいの自然	環境教育や自然との交流の意識	地域の活動の意	文化・伝統の利	環境保全型農業	強化、経営基盤の向	農業生産性の向上	食育・地産地消	農の取組・農村体
農による地域づくりゾーン												
高生産性営農ゾーン												

ゾーン名	重点的な環境保全・整備目標	重点的な対応方策
農による地域づくりゾーン	農村景観の保全・形成	自然・田園・集落の景観の調和
	環境教育や自然とのふれあいの推進	動植物とふれあえる場の創出
	農業・農村体験への取組の展開	グリーン・ツーリズムの推進 地域ぐるみの農地等維持管理活動の推進
高生産性営農ゾーン	水と緑のネットワークづくり	「緑の多面的機能」の発揮
	環境保全型農業の推進	有機農業及び健全な土づくりの推進
	農業生産性の向上、経営基盤の強化	優良農地の保全と農業生産基盤の整備

ゾーン設定図を図 6-2 に示す。さらにエリア区分及びゾーン設定を「農村環境整備計画図」として図 6-3 にまとめた。また環境保全・整備の方策のイメージ図をいくつか示した。

「海と自然の保全エリア」については、寺泊町農村環境計画での「魅力ある農業・心地よい農村形成エリア」をその趣旨から便宜上、高生産性営農ゾーンに含めて示すこととした。

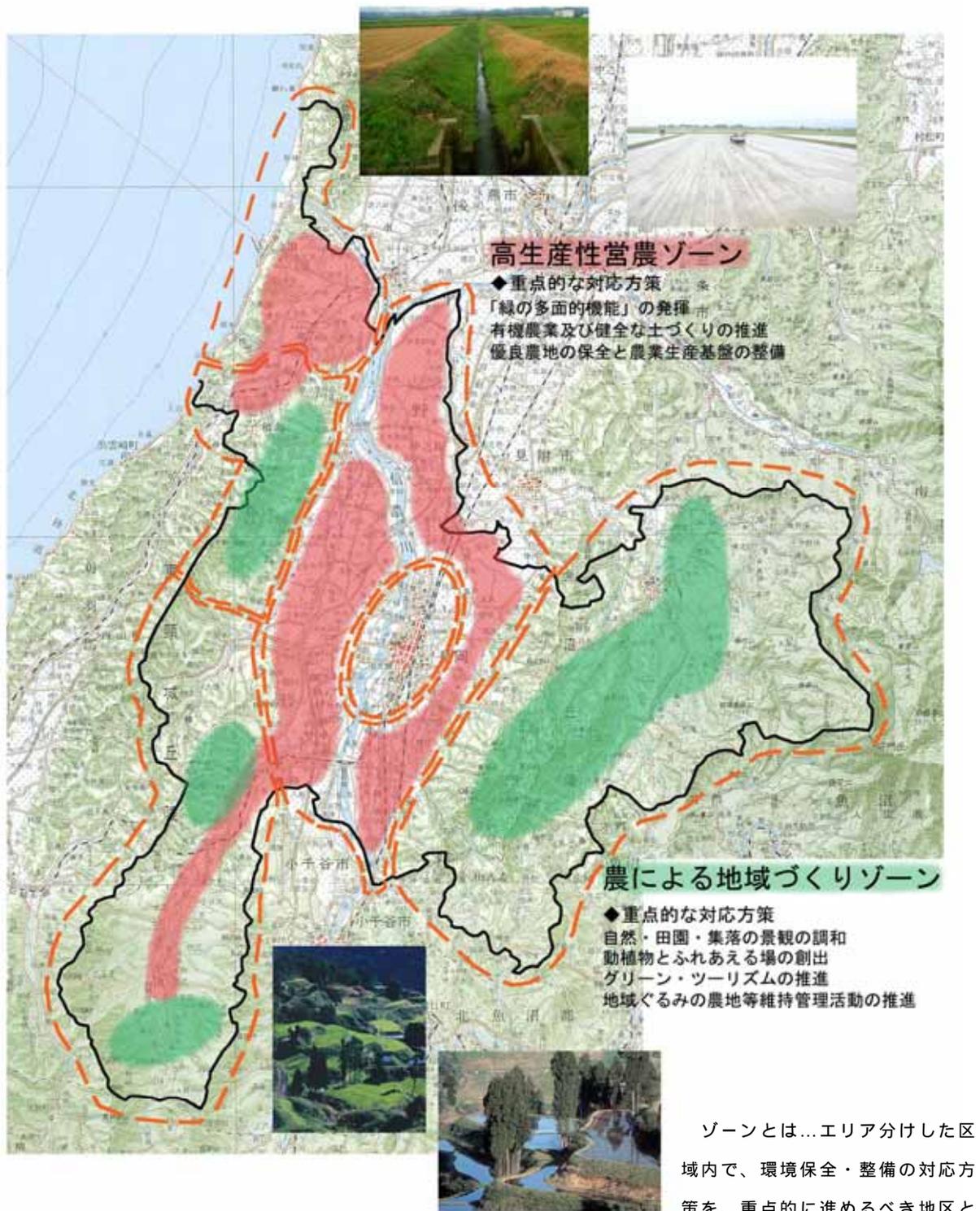


図 6-2 ゾーン設定図

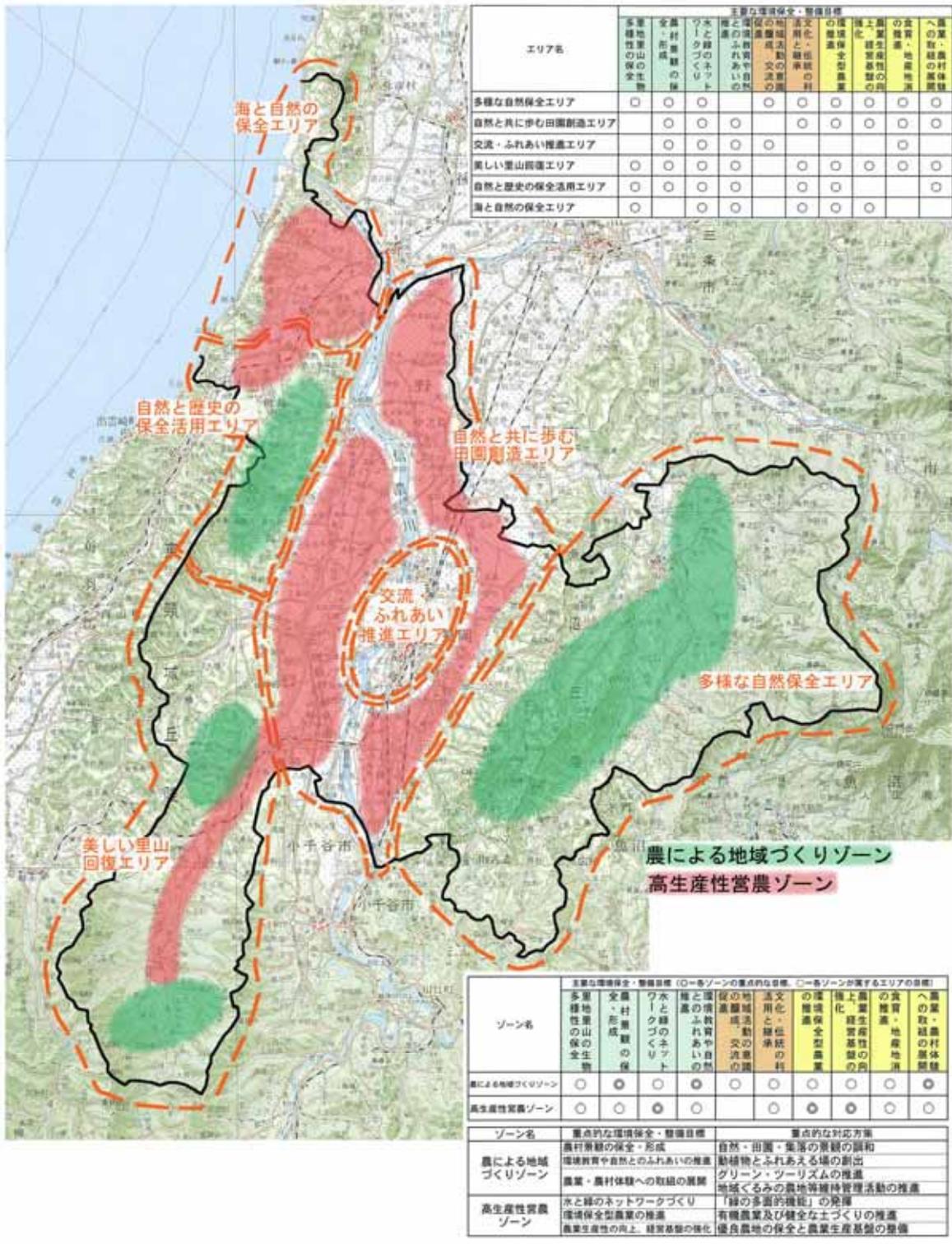


図 6-3 農村環境整備計画図



図 6-4 環境保全・整備の対応方策のイメージ